

NOW & FUTURE

新年度経営方針発表



iii HALZ

社内報2025年Vol.1では
2025年のHALZの経営方針についてです！
HALZでは毎年、CEO藤田が経営方針を発表
しています。
今年は、1月6日の朝礼で発表されました。
その経営方針がこちらです！



取締役
馬場 佑未



取締役
針谷 正昭



執行委員
堀越 敬太

1. 節目の年としての意義

- ・ 信頼と実績の強調
25年積み重ねた経験、実績 をアピールし、ブランド価値を高める。
- ・ 社会的使命の再確認
社労士法人としての存在意義を改めて明確化
- ・ 次の25年へのスタート
過去の振り返りだけでなく、未来へのロードマップや革新的な取り組みを発信する。

2. 2025年に向けた方針

- ・ デジタル化とDXの加速
士業は紙からデジタルへの移行が進み、AIやクラウドツールの活用が重要となる。
- ① デジタルツールの活用
顧客とのクラウドシステム連携
電子申請の自動化
- ② 業務効率の改善
AIを活用した労務データ分析
給与計算の自動化
- ③ 人材のデジタルスキル強化
チーム全体でDXに対応するための研修強化



2. 2025年に向けた方針

・人的資本経営の支援強化

- ① **人材育成・働き方改革支援**
健康経営やリモート対応のコンサルティング
- ② **企業の労働環境改善**
エンゲージメント向上の施策支援や制度設計
- ③ **労務リスク管理**
コンプライアンス対策、労使トラブル未然防止の提案

・顧客との信頼関係深化

- ① **長期顧客との絆強化**
25年目の感謝イベントや特別セミナーの開催
- ② **新たな顧客層の開拓**
スタートアップ企業、DX推進中の中小企業へのアプローチ
- ③ **コンサルティング力の強化**
業務代行だけでなく企業価値向上を支援するコンサルティング提供



3. 戦略・戦術

- ・ **ブランディング強化**

- ① **創業25周年**キャンペーン
25年の経験・実績を数字や事例を通して発信
- ② **オウンドメディア強化**
SNSや動画、ブログで社労士業界のトレンド情報を発信

- ・ **テクノロジー活用**

- ① クラウド労務管理メールとの連携強化 ex) Smart HR
- ② 労務データ分析を通じた課題発見、解決提案の強化

- ・ **組織力強化**

- ① **人材育成**
次世代リーダー育成プログラムの導入
- ② **採用強化**
デジタルに強い **若手社労士** の獲得
- ③ 働き方の多様化
フレックスタイムやリモートワーク制
度の社内導入

4. 次の25年に向けたビジョン

25年目の節目は「次の時代への革新」として捉え、**変化への対応力**と**付加価値創造**がテーマです。

「企業と働く人の未来を考える」

→労務管理の枠を超えた企業価値向上パートナーとなる。

- ・ **未来型社労士法人**として、AI・デジタルと人間力を融合させた革新的なサービス提供
- ・ **地域密着、全国展開**のハイブリット経営を強化し、社会的存在感を高める



数値目標

1. 日本No.1の社労士法人になる
2. 業界No.1 HRテック・生成AI活用企業になる
3. 売上2倍、利益2倍増以上になる
(個別月次PJ評価シートで経費の3倍売上・3分法を達成)
4. 全正社員 (unitリーダー) 給与水準を2倍以上にする
5. 社員・スタッフ満足度業界No.1になる
6. クライアント満足度 (CS顧客満足度) 業界No.1になる
7. 5年以内にIPO・株式上場になる



編集後記



2025年社内報Vol.1の編集を担当しました井村優希です。
この機会に自己紹介をさせていただきたいと思います。

私は現在上智大学外国語学部英語学科に通う大学2年生です。HALZでインターンシップ生として働かせていただくこととなりました。

学科では英語を使い、社会問題や海外の文化など自分の興味のある分野についてディスカッションをしたり、プレゼンテーションをしたりしています。

また、体育会ラグビー部に所属しており、マネージャーとして活動しております。
部活動では、グラウンド内でのタイム管理等の仕事はもちろん、広報を担当していてSNS活動や保護者、OBOGの方々などに向けた情報発信など幅広く活動しています。

HALZではそんな広報活動を活かして社内報などの業務にも携われたらと考えております。
まだ未熟な大学生ですが、学生目線の発信にも興味を持っていただければ幸いです！
よろしく願いいたします。



編集後記

HALZでは、毎年経営方針を発表していると伺いました。年の始めに目標を明確化することは社員にとって、会社の方向性を確認することができるし、個人としての目標もたてやすく、仕事へのモチベーションに繋がると思いました。

やはり組織では、何か共通の目標があると一体感が生まれると実感しました。

今年度の経営方針では、テクノロジーやAIといった最新の技術が目立っていると感じました。

紙での書類などがイメージされる仕業でも、デジタル化が進んでいることを改めて知り、テクノロジーの発展、浸透を感じました。

最近作業させていただいた電子契約書もそのデジタル化の一つなのだと思います。

やはり仕事を効率的、かつ的確に行うとなるとAIなどに頼ることが現代では良い選択なのだと思います。

また、経営方針にもあったように、今後メディアなども使い、外への発信を強化していく中で、しっかりと経営方針を持った会社の方がブランディングされていることで、他社や若い世代にも魅力的に映るのではないかと考えました。このように、対内的にも対外的にも利点がある経営方針は重要であるし、今後も定期的に見返していきたいと思いました。